



継続と改革



例会日 毎週水曜日 12:30～ 例会場 ホテルシーズン日南

住 所 日南市園田 3-11-1 TEL 0987-22-5151 FAX 0987-22-9588

会長 黒岩久登

母子の健康月間

第 3339 回例会	No.02	2023. 07. 12	晴れ
点鐘・国歌・ロータリーソング	18 時 30 分 「奉仕の理想」		
四 つ の テ ス ト	野崎正彦 君		
ゲ ス ト	坂本哲夫ガバナー補佐（日南中央ロータリー）		
例 会 行 事	ガバナー補佐公式訪問例会・クラブ協議会		

会長時間

本日は坂本ガバナー補佐をお迎えしてのガバナー補佐公式訪問行事、その後クラブ協議会という事で会長挨拶、会長時間を一緒に務めさせて頂きたいと思っております。

当月7月は国際ロータリーの特別月間において「母子の健康月間」と指定されています。昨年の10月のRI理事会において4月から7月に変更されました。目的は5歳未満の幼児の死亡率と罹患率の削減、妊婦の死亡率と罹患率の削減、より多くの母子に対する基本的な医療サービスの提供、保険従事者、を対象とした研修、保護ケアの提供、また母子の健康に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金の支援を強調する月間であるとしています。

RIの考え方として、予防可能な原因で母と子供が命を落とすことなどあってはならないとの考えです。全ての母子が質の高い医療を受けられるよう、そして、出産で命を落とす母親がいなくなり、子供がすくすくと成長できるように支援活動を行うものであるとしています。私もこの支援活動こそがロータリークラブの存在意義であり、ポリオの絶滅とともに目指すべきところであると思っております。

国際ロータリーでは、ロータリークラブや地区が実施した様々な活動や計画中のプロジェクトの情報をロータリーショーケースとして掲載しておりますので、いくつか紹介いたします。アフリカのある女性医師は、マラリアについて最もやるせなさを感じるのは、予防できたはずの病気で家族たちが苦しんでいることです。子や親を亡くし、仕事や経済的安定を失うことは、悲惨な状況をもたらす可能性があると話します。

またニュージーランドで出産教育に携わっていた助産師ジュリードックルさんは、「安全な出産についてモンゴルの医療従事者を指導してほしい」という依頼をワイマテ・ロータリークラブ（ニュージーランド）から受け、「たった一人でも命を救えるのなら」と活動に一人参加しました。ウガンダ政府は3月、コロナウイルスの感染者数が12件に満たない頃から、厳しいロックダウンや学校閉鎖を実施して迅速に対応しましたが、失業や移動制限のせいで妊娠中の女性が病院に行けないといった問題が生じました。カンパラにあるルバガ・ロータリークラブはこの報告を聞き、救急車を1台寄贈しました。現在世界では栄養失調、不十分な医療、不衛生などが原因で、毎年推定590万人の5歳未満の子供たちがなくなっているそうです。これらの死は全て防ぐ事ができ、ロータリーでは妊産婦への教育、予防接種、出産キットの提供、移動診療所の実施などに力を入れており、これらとは別に、助産師は女性のエンパワーメントにとって重要なリソースになるとしています。エンパワーメントとは力をつける、自信を与えるという意味ですが、個人やチームがもともと持っている能力を十分に引き出せる環境を整えていくという意味合いで浸透しています。リソースは資源、資産という意味なので、翻訳は皆さん個人個人でお願い致します。

普通に日本で生活をしていきますと、体調が悪くなれば病院で治療し、また子供や孫たちがすくすくと成長するのは当たり前と思っております。出産が母子の命にかかわる大変な行事だとの認識も私にはあまりありませんでした。たまにテレビとかでアフリカの小さな子供たちのがりがりに痩せた映像が流れてもよその遠い国の事としか思いませんでしたが、実際にロータリーの報告を読みますと、私達に何が出来るかという

ことを考えずにはられません。一緒に考えて行きましょう。

幹事報告

1. 一般財団法人 比国育英会バギオ基金より”バギオだより 7月号”が届いております。
2. 国際奉仕委員会予算 250,000 円を 50,000 円に変更の件
3. 会長幹事会より表敬訪問再開の件

委員会報告

青少年奉仕委員会 9/2 (土) 高校生就職支援セミナー出席要請の件

スマイル

坂本ガバナー補佐 ガバナー補佐の訪問で出席させていただきます。よろしくお願いたします。
石灘 寛樹君 70 周年実行委員会のあとの食事会のおつりをスマイルします。竹井委員長のもと順調に準備が進んでいます。

例会行事 クラブ協議会

クラブ管理運営委員会

(例会運営委員会) 委員長 斉藤篤史 副委員長 宮田健司
委員 齋藤奈々 中山智司 黒武者和浩 花盛和也 西島元利

活動の基本方針

1. 例会プログラムの充実(会員同士の相互理解が深まる例会を目指す)
2. 三大義務(会費納入・例会出席・雑誌の購読)の履行を奨励

活動計画の具体案

- ・プログラム
 1. 会長、幹事、副会長、各委員長の所信、活動計画の発表
 2. 会員卓話の実施(結婚・誕生・新入会員他)
 3. ロータリー月間の担当委員長への例会行事依頼
 4. 家族向けの例会内容であれば親睦委員会と連携し家族の出席率向上
 5. ゲスト卓話の実施(地区内で活躍している方への卓話依頼)
 6. 地区大会、地区協議会終了後、出席者による報告
 7. R 情報委員会の活用(卓話の終了が早くなった場合等)
- ・出席
 1. 例会における出席状況の報告
 2. 年間出席優秀者(100%)表彰の実施
 3. 地区大会をはじめ、各種会議への出席の奨励
 4. 委員による例会開始 30 分前の受付
 5. 例会欠席連絡徹底の奨励

予 算

・ゲスト卓話 8 回謝礼	4,000 円×8 回	32,000 円
・100%出席者記念品	3,000 円×20 名	60,000 円
・予備費		8,000 円
		合計 100,000 円

クラブ管理運営委員会

(親睦委員会) 委員長 豊田裕康
副委員長 甲斐信之 委員 村社浩二

活動の基本方針

引き続き感染症対策については十分踏まえたうえで、ここ数年実施できなかった会員同士の交流を積極的に行い、改めて会員同士の信頼関係をより深め、楽しく魅力ある例会と親睦活動を計画実施する。

会員自身が積極的に例会に参加したいと思うような親睦活動を計画することで、会員の出席意欲を高めて

広報委員会

〈雑誌会報広報委員会〉

委員長 河野通郎

副委員長 村社浩二 委員 菊池希樹

活動の基本方針

1. ロータリアンとしての三大義務の一つである「ロータリーの友」の購読の奨励
2. 例会記録としての週報の発行
3. 日南RCの活動をマスメディアと通して地域社会にアピール

活動計画の具体案

- ・1年間の記録として週報の発行
- ・週報発行の為の卓話等の原稿提出依頼
- ・ホームページでの週報の記載
- ・マスメディアの協力を得てロータリー活動の紹介およびPR
- ・マスコミ関係者との懇親会の実施

予 算

30,000 円

奉仕プロジェクト委員会

〈職業奉仕委員会〉

委員長 築瀬 敦

副委員長 落丸正博 委員 斉藤篤史 西島元利

活動の基本方針

ロータリーは、職業を通じ社会に貢献することを目的とした組織である。
そのことを深く理解し、職業上の高い倫理基準を保ち職業を通じて社会に奉仕する。
日々の研鑽を続け、各々の職業が高潔なものとなる様に努力するロータリアンを目指す。

活動計画の具体案

1. 例会において4つのテストを唱和する。
2. 職業奉仕月間に職業訪問を実施する。
3. 社会奉仕委員会と協力して翡翠賞受賞者を選定する。

予 算

職業訪問 10,000 円

翡翠賞 30,000 円

合計 40,000 円

奉仕プロジェクト委員会

〈社会奉仕委員会〉

委員長 甲斐信之

副委員長 小玉 淳 委員 古澤昌子

活動の基本方針

ロータリアンのすべてが、その個人生活、ロータリー活動において、奉仕の理想を適用する事を奨励、実践する事を基本方針とします。

活動計画の具体案

1. 環境美化活動（道路清掃）
2. 翡翠賞の選考（社会貢献活動の顕著な団体もしくは個人の表彰）
3. 地域に住む人々の生活の質を高め、公共のために奉仕することは、すべてのロータリアンにとって、献身に値することであり、社会的責務であることを自覚する。

予 算

30,000 円

奉仕プロジェクト委員会

〈国際奉仕委員会〉

委員長 日高章太郎

副委員長 鬼束忠男 委員 榎木田大資

活動の基本方針

ロータリアン同士の相互理解により、他国の人々とその文化や習慣、功績を鑑み国際理解、親善平和を推進する。

活動計画の具体案

1. 当クラブ70周年式典参加予定の釜山港都ロータリークラブ来訪を受け入れる。
2. 日南ユネスコ協会他、日南地区における留学生の受け入れ等、外国人との交流を行う。
3. 委員会アワーで卓話を行う。

予 算

50,000 円 （釜山港都クラブの日程で予算の変動あり、多めに計上）

奉仕プロジェクト委員会

〈青少年奉仕委員会〉 委員長 竹井崇利
副委員長 花盛和也 委 員 峰松俊夫

活動の基本方針

「青少年育成プロジェクト」の開催、若者の夢と希望を育てていく。

活動計画の具体案

1. 高校生就職支援セミナーの開催
日南振徳高校商業科の生徒を対象に、8月下旬に開催します。セミナーの内容は、模擬面接と講演（社会人としての心構え）
2. 少年野球大会の開催
開催日：令和5年11月を予定、ボールとメダルを協賛する。

予 算

就職支援セミナー 30,000 円
少年野球大会 50,000 円
合 計 80,000 円

ロータリー財団委員会

〈ロータリー財団〉 委員長 竹井崇利
副委員長 清水満雄 委 員 渡邊眞一郎

活動の基本方針

国際ロータリーの事業を支援するため、財団への寄付を奨励し世界平和のための財団活動の理解と協力をお願いする。また、米山奨学会の目的を再考し、会員への理解と協力を推進していく。

「わかば奨学会」に理解と協力をお願いする。

活動計画の具体案

1. 100万ドルランチを月に1回実施し、地区に寄付する。
2. ロータリー財団に会員一人\$100を寄付する。
3. 米山奨学会に一人3000円を寄付する。
4. 「わかば奨学会」に一人5,000円を寄付する。
5. 「わかば奨学会」の2024～2025年度地区補助金を申請する。
6. 「わかばランチ」を月1回実施し、「わかば奨学会」に寄付する。
7. 地区主催による「財団セミナー」に参加する。

予 算 0 円

会場監督 (SAA)

SAA 入中英雄
副 SAA 豊田裕康 竹井崇利

活動の基本方針

例会をはじめとする全ての会議が、楽しく秩序よく運営されるよう心を配り、品位と雰囲気を良好に楽しくなるよう心がける。そして、会合の運営監督を行い、円滑に進行することを目指す。

活動計画の具体案

1. 例会の開会前の予告を行う。

2. 点鐘は全員起立の上、会長が点打する。
3. ロータリーの目的（毎月第一例会）を読み上げ、四つのテスト（第二例会以降）を唱和する。そのリーダーは会員交代とする。
4. 第一例会は「国歌」と「奉仕の理想」を全員で斉唱、第二例会以降はロータリーソングを斉唱する。
5. 例会運営・親睦委員会と連携し設営座席を工夫する。
6. ゲスト及びビジターがあるか事前に確認する。
7. 委員会報告及び、その他報告があるときは、SAAに事前に知らせることを周知する。
8. 例会及びその他の会合は禁煙とする。
9. スマイル、コインボックスに協力を求める。
10. ロータリーバッジとネームプレートを着用することを徹底する。
11. 早退は事前にSAAに連絡するよう求める。
12. 例会その他の会合時は、携帯電話を切るかマナーモードにする。
13. 次週例会の案内をする。
14. 毎月第一例会はネクタイ着用とする。但し制服のある場合は非着用でも可
15. 2023年7月～10月・2024年5月～6月はクールビズ例会とする。
なお、クールビズ例会中は、第一例会もネクタイ着用は不要とする。ただし、ガバナー及びガバナー補佐公式訪問例会、周年記念例会時はネクタイ着用とする。

例会予告

- ・5分前 バッジ、ネームプレートの確認、中途退出の会員への申出の案内
- ・1分前 開会予告 委員会への呼びかけ
- ・「60%ルール」の確認(1:06以降に退出)
- ・例会中は私語を慎むように

ガバナー補佐アドレス

坂本哲夫ガバナー補佐



今年度は70周年と言う事で、おめでとうございます。地区からの連絡事項はまだ来ておりません。今日の協議会を見ていて、きちんとされたクラブだと羨ましく思っています。メッセージとしては、明るく、楽しく、目標を大切にして、ロータリー活動を行ってほしいと思います。

今年度一年間ご協力を宜しくお願い致します。

出席率報告

	会員数	出席免除	出席定数	HC出席	MU	欠席	出席	出席率
今週	29	8 (3)	25	16	3	6	19	75.00%
出席免除	落丸、鬼束、小玉、清水、渡邊							
先取MU	峰松、宮田、村社							
欠席	榎木田、甲斐、菊池、黒武者、中山、花盛							

事務局〒887-0014 日南市岩崎3-4-2 Itten 堀川ビル2F 創客創人センター内 TEL0987-22-3363・FAX0987-22-3515

会長：黒岩久登 副会長：築瀬 敦 幹事：井野畑善順 雑誌会報広報委員長：河野通郎

雑誌会報広報委員会より

原稿は、ocame@wing.ocn.ne.jpまで送信してください。